協議会だより

第　３０号　　令和３年１０月

一般社団法人久喜市学童保育運営協議会

令和４年度入所説明会を開催します

保護者の皆様には、日頃より学童クラブの運営にあたり、ご理解、ご協力をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染対策につきましては、各クラブとも出来るかぎりの対策を講じているところでございますが、これも保護者の皆様のご協力があってのことと深く感謝申し上げます。

各クラブでは、コロナ禍のなか子ども達のストレスが少しでも軽減されるよう、遊びに没頭したり、思いっきり身体を動かしたりできるような保育を日々考えております。そして、これからも子ども達のちょっとした変化も見落とさないよう気を配ってまいりたいと考えております。

さて、今年も来年度に向けての入所説明会を次のとおり行います。

日時：令和３年１１月２７日（土曜日）　午前１０時から

場所：各学童クラブ室

予約等の必要はありません。お子さんが通う学校にある学童クラブへ直接お越しください。

当日、ご都合の悪い方は、直接各クラブにお問い合わせください。

クラブのネットワーク化と情報セキュリティ

今年度協議会では、利用者の皆様へのサービス向上と職員の業務の効率化を目的に、所管する学童クラブにインターネットを導入し、情報共有のための独自のネットワークを構築しました。

これにより業務を効率化し、常に新しい情報を共有化することで、クラブでの出来事や事務局との情報共有をスムーズに行うことができます。また、各種研修がオンライン化されていくなかで、職員はクラブのパソコンを使って様々な研修を受講できるようになり、資質の向上にも役立てることができます。

一方で、懸念されるのが情報の管理です。協議会では個人情報の管理について、各クラブに情報セキュリティ責任者を配置し、研修をとおし、個人情報の流出等がないよう細心の注意を払っております。

さて、学校では「GIGAスクール構想」により、子ども達のタブレット端末を使った学習が加速化しています。これに伴い久喜市では、学童クラブで児童が利用するためのインターネット環境の整備を進める予定で、今年度中にはタブレット端末の利用が可能になるとのことです。

協議会では、引き続き時代の流れにあわせて、より良いクラブ運営ができるよう努めてまいります。

組織力を高めて利用者サービスと職員資質の向上を目指します

1　エリアマネジャーの役割

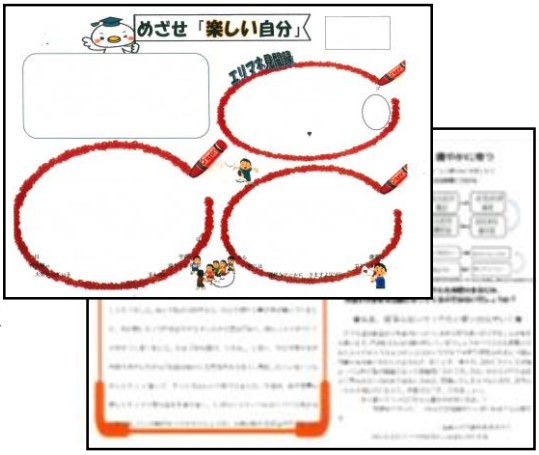
協議会では令和３年度からエリアマネジャー２名を配置して、各クラブを包括的に支援する取り組みを行っています。

エリアマネジャーの主な役割は、大きく分けて３つあります。

1つは、保育の質の向上です。100人の子どもがいれば、発達段階も家庭環境も性格もみんな違います。そのため、一人ひとりに合わせた100通りの対応が必要となります。どのように接し、どのように関われば、子ども達との信頼関係が築けるのか？　また、子ども達の小さな変化や様子に気づき、どのように対応したらよいのか？　そして、子ども達、保護者の方々に安心して喜んでいただける保育ができているのか？　などを、支援員と一緒になって考え、学び、実践していくことで保育の質の向上を目指していきます。

2つ目は、サービスの平準化です。クラブによって独自のアイデアやたくさんの工夫がみられる一方で、業務の一部にはマンネリ化も見受けられます。そこで、エリアマネジャーが各クラブを巡回しながら、良い事例や新しい試みなどを取りまとめ、全クラブに紹介するようにしています。新しい情報を共有し、変化を促していくことでサービスの平準化を進めていきます。

3つ目は、職員の支援と育成です。事務局と現場の職員のパイプ役として、支援員の立場でクラブの課題や問題、職員の仕事上の悩みなどを把握し、アドバイスを行うことで、職員の資質向上と心の健康維持に努めています。新しい職員も増えている中で、人間関係も含め悩みを抱えている支援員もいます。職員が笑顔でいることが、子ども達にとって心の安定につながり、安心、安全な保育につながると考えています。エリアマネジャーは、日々各クラブを巡回しながら、学童クラブがどうしたら居心地の良い生活の場になるかを考えつつ活動を続けていきます。



2　職員研修委員会の役割

職員研修委員会は各クラブの代表者ら９名で活動しています。「職員の、職員による、職員のための研修」をモットーに、保育に関して興味関心のあること、より専門性を高めたい事柄などについて、意見を出し合い、職員研修の企画・運営を行っています。

9/21には今年度第１回の研修会として「工作研修会」を行いました。素敵な作品が出来上がったので、各クラブ、子どもたちに伝える準備をしているところです。

今年度は計３回の内部研修会を予定しています。

工作研修会のようす

3　サービス向上委員会の役割

サービス向上委員会は、令和３年度から始まった委員会で１０名で活動しています。

委員会では、次の３つを基本にサービス向上のための調査・研究の取組を行っています。

①子ども達、保護者にとって、クラブが安心して過ごせる場所であること。

②職員にとって働きやすい環境の整備。

③学童クラブが地域社会から認知された、地域に必要とされる場であること。

サービス向上委員会では、積極的に意見を交換し合い、今後具体的な行動計画を立てていく予定です。

段ボールのサンダル

スーパーカー

ヒンメリ

おやつ と SDGｓ

協議会では、各クラブで提供している「おやつ」についてネットスーパーの積極的な利用を推進しています。これはネットスーパーを活用することで、職員の負担軽減を図り、併せて空いた時間をクラブミーティング等に充ててもらうためです。これにより、日々の保育の充実と質の向上を図り、その結果（成果）が利用者様へと還元されていくと考えています。

また協議会として、将来を担う子ども達のため、SDGｓに取り組む企業の商品を購入することで、直接・間接的にSDGｓの達成に貢献していきたいと考えています。

SDGsについては、今後ますます重要な課題となることから、協議会ではおやつに関連して、SDGｓに取り組む企業情報や、栄養面、カロリー、アレルゲン情報等について「おやつ通信」として職員に向けて情報発信しています。職員は、「おやつ通信」の様々な情報を参考に日々の献立に活かしていきます。

また、職員は、おやつの時間に子どもたちにSDGｓにまつわるお話（フードロス・貧困・児童労働など）や、おやつの栄養面などを伝えることで、子ども達の考えるきっかけになればと思っています。

おやつ通信　Vol.1

SDGsとは…

企業による取り組み

チョコレートに隠れた闇…児童労働

夏の製作をとおしてSDGｓを学ぶ

＜桜田小学校学童クラブ＞

桜田小学校学童クラブでは、SDGｓの14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」について、夏の製作を通じて学びました。

導入は、世界が抱えている問題を分かりやすく紹介した絵本「わたしがかわる　みらいもかわる」「SDGｓはじめのいっぽ」の読み聞かせから始まりました。

そして、職員が沖縄から持ち帰った、きれいな海水や海砂、石灰化してしまった珊瑚を実際に子どもたちに見てもらうことで、現実を理解してもらいました。

「砂が白い・・」「きれい・・」子どもたちの感想です。

珊瑚の石灰化も海水温の上昇や汚染が原因であり、こんなにきれいな地球の自然が汚され、壊されていることについて話し合いました。

自分たちに何ができるかをテーマに話をして、ゴミはゴミ箱へ捨てる。物を長く大切に使う等子ども達なりに理解してくれたようです。

一人ひとりは小さな力でも、みんなが少しずつ気をつければ大きな力となることを、これからも子ども達と共有していきたいと思います。

沖縄の海の砂で、星の形の砂は「幸せの砂」といわれているそうです。幸せの砂を入れて自分で作った「星の砂ボトル」大切にしてくれたらよいですね。

浜辺に打ち上げられたゴミ・・・

どれにしようかな～

皆の願いが詰まった「星の砂ボトル」完成！

クラブ こぼれ話・歳の差勘違い

＜久喜児童クラブ編＞

その①・GPSとBTS

A子さんが得意げな顔をして職員に話しかけます。
A子さん：「先生！GPSって知ってる？」
支援員：「知ってるよ！どこにいるか分かるんだよね」
A子さん：「・・・う、うん。日本！」
支援員：「それは日本でしょー！」
A子さん：「・・・そうだったかな？？」
支援員：「詳しく分かるんだよ！いま久喜小にいるとか！」
A子さん：「久喜小にいるの!?Σ(゜Д゜)」
支援員：「久喜小にいたら分かるはずだよ？・・」
A子さん：「・・・？」
支援員：「・・・？」
A子さん：「・・・（あっ、違った）BTSだよ！」
支援員：「・・・BTS？？？」
A子さん：「うん！防弾少年団！！」
支援員：「・・・何それ？(;^_^A」
A子さん：「え～知らないの～！！」
支援員：「(￣▽￣;)」

BTSは韓国の音楽グループで防弾少年団とも、ヒゲダンはOfficial髭男dismのことで、共に子ども達に人気のグループです。

クラブでは、毎日、面白いこと、楽しいこと、時には悲しいことと、いろいろなことがあります。その中の一コマをご紹介しました。

今回は支援員と子どものやり取りでしたが、子ども同士のやり取り等もご紹介していきたいと思います。

その②・懐かし？、新しい？ヒゲダン

B子さん：「先生、ヒゲダンって知ってる?]
支援員：（懐かしいなぁ）「ルネッサーンス！！」とノリノリで髭男爵の真似をする支援員に・・子どもたちの冷たい視線が・・

「えっ、違うの？」と不思議に思っていたところへ、まさかの救世主が！！
手を腰のあたりに持ってきて、手の平を下に向け、踊りだし、そこで一言　「これ？♫♫♪♪♪～」
「いやいや、それはヒゲダンス！古いよ！」とツッコむ支援員。「知ってる～！」と一緒に踊りだす子もいて、みんなで大爆笑でした。

編集後記

今回の協議会だよりも最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

このお便りを書いている私は事務局にいて、実際に子ども達に接する機会は少ないのですが、支援員は楽しそうに子ども達の話を聞かせてくれます。クラブは毎日、笑いあり、時には涙ありでにぎやかなようです。「笑いは万薬の長」と言いますが、子ども達の心の成長、そして大人たちの健康維持には欠かせないものだと思っています。お迎えの際には、子どもも保護者も支援員もみんな笑顔で一日を終えられるよう、心がけていきたいですね。

久喜っ子の安全基地

発行 / 一般社団法人
久喜市学童保育運営協議会

〒346-0013
久喜市青葉1-2-2　地域交流センター内
TEL　0480－24－3922
FAX　0480－24－3924
メール　:kukigakudou@feel.ocn.ne.jp
ホームページ:http://www.kukigakudou.jp/